



# NEWS ECO



シブヤパイピング工業株式会社

TEL 052-221-6911 FAX052-201-9681

URL <http://www.shibuya-p.com>

4月1日、新社長の下、シブヤパイピング工業株式会社・73期経営計画発表会が開催され、新年度がスタートしました。「経営計画書」には、品質・環境方針 目標が以下のように示されました。

○品質方針 “お客さまの要求を満たし、いつまでも信頼していただける品質を提供する”

○環境方針 “常に環境に配慮した企業活動を積極的推進し社会に貢献する。環境への負荷を軽減する。そのため以下の活動を実施する”

- ・環境マネジメントシステムの運用とレビューによる継続的改善
- ・環境関連法規の遵守と環境汚染の防止
- ・地域環境保護活動への積極的参加

○年度目標 (ISO目標)

「全部門・全社員が個の力を高め、確実な進歩を果たす」

「経営計画書」の記載内容を熟読、理解し、わが社を取巻く内外の課題に向き合い、わが社のISOマネジメントシステムをツールとして一つでも多くの課題取に組み、解決、発展させていきましょう。

先輩社員の方々は5人の新入社員が一日も早く業務のツールとしてマネジメントシステムを活用できるようにご指導ください。



ネモフィラ (瑠璃唐草) ・北アメリカ原産  
今年初めてシブヤの庭にデビューしました。  
繁殖力旺盛につき、こぼれたタネで来年もお目にかかれると思います。



シブヤの庭・4月

## 【ISO14001掲示板】

3月 (136号) について、「ISO 14001 : 2015規格の概要とJQAの審査の視点」から 項番8. 運用 手順からプロセスへ について「一般社団法人 日本品質機構」のHPより掲載します。HPには、「審査の視点とチェックポイント」「現場における留意点」などが記載されています。社員皆さんもHPにアクセスしていただき、理解を深め、内部監査、外部審査等、今後のISO活動に活かして行きましょう。  
[http://www.jqa.jp/service\\_list/management/iso\\_info/iso\\_network/vol27/](http://www.jqa.jp/service_list/management/iso_info/iso_network/vol27/)

### ★☆☆ISO 14001 : 2015規格の概要とJQAの審査の視点

#### 項番8. 運用 手順からプロセスへ

項番8 (運用) では、EMSに関するプロセスの確立が包括的に要求されています。ここで示されるプロセスとは、EMS要求事項を満たすためのプロセス、並びに項番6.1 (リスク及び機会への取組み)、項番6.2 (環境目標及びそれを達成するための計画策定) で示されているあらゆる管理と関係するプロセスを示しています。また、EMSに必要なプロセスを外部委託した場合には、EMSの中でどのように管理するかを明確にする必要があります。

さらに、運用の計画及び管理に対しては、ライフサイクルの視点に基づいて、組織の上流 (サプライチェーン) 及び下流 (製品・サービスの提供に伴う物流、販売、使用から最終廃棄に至る流れ) に対する管理が求められています。

項番8.2 (緊急事態への準備及び対応) では、項番6.1.1 (一般) で特定された緊急事態に対して、どのように対応するか、そのオペレーションに関する要求事項が示されています。緊急事態への準備及び対応に際しても、利害関係者への情報提供が示されており、コミュニケーションが強化されています。

#### ○審査の視点とチェックポイント

手順という用語はなくなり、それに代わってプロセスが要求されていることから、ビジネス全体の視点からプロセスアプローチ的な検証により、EMSの運用に関する有効性や、パフォーマンスが向上しているかどうかを審査することとなります。組織が特定したEMSに必要なプロセスに対して、インプットは何か、アウトプットは何かを確認し、プロセスアプローチ的な審査をします。

こうしたプロセスアプローチ的な審査では、組織の事業活動上のプロセスとEMSとの統合の度合いという観点で、本業との結びつきを確認することが重要なポイントとなります。複数のプロセスの相互関係を意識して、審査を計画し、実施しますので、各プロセスを個別に評価するのではなく、各プロセスの流れと、それに関連する要求事項への展開と相互関係も考慮のうえ、システムとしての有効性を評価することとなります。

#### ☆☆現場における留意事項

項番8.1 (運用の計画及び管理) 手順に着目した審査から、プロセスが確立し、実施し、管理し、かつ維持されていることを検証する審査に変わります。検証を通じてプロセスを運用管理している過程を評価することになります。

項番8.2 (緊急事態への準備及び対応) 緊急事態も、運用管理と同様に手順が消え、プロセスを確立し、実施し、維持されていることを検証することになります。また、今回新たに導入された、直接的に環境に対して影響を与えなくとも、組織に重大な影響を与える緊急事態 (例えば、コンプライアンス問題から組織の急激なロイヤリティ喪失) に対しても準備が必要となります。

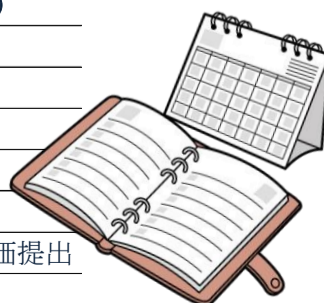
## 【ISO年間予定】

◎×λ※▽b?○μ@□!#●※△b?○μ@■!◎×ε※△

4月 10日	内部監査チームミーティング	10月 18日	マネジメントレビュー(月例幹部会議)
18日	マネジメントレビュー(定期・72期分析報告)	31日	年間改善活動計画書(後期)計画提出
30日	年間改善活動計画書(前期)計画提出		目標カード(後期)目標提出
	目標カード(前期)目標提出		社長面談(前期目標カードによる)
5月 18日	マネジメントレビュー(月例幹部会議)	下旬	☆☆JQA外部定期審査
6月 19日	マネジメントレビュー(月例幹部会議)	11月 17日	マネジメントレビュー(月例幹部会議)
7月 18日	マネジメントレビュー(月例幹部会議)	12月 18日	マネジメントレビュー(月例幹部会議)
8月 18日	マネジメントレビュー(月例幹部会議)	1月 18日	マネジメントレビュー(月例幹部会議)
31日	年間改善活動計画書(前期)評価提出	2月 19日	マネジメントレビュー(月例幹部会議)
	◎内部監査(8月下旬~9月上旬)	28日	年間改善活動計画書(後期)評価提出
9月 19日	マネジメントレビュー(73期定期)	3月 19日	マネジメントレビュー(月例幹部会議)
30日	目標カード(前期)評価提出	28日	目標カード(後期)評価提出
		中旬	◎内部監査(3月下旬~4月上旬)

## 【ISO内部監査】

内部監査が3月22日、本社技術部を皮切りに4月4日の静岡支店まで延べ6日間に渡って行われました。監査員の方々、お疲れ様でした。



監査結果については4月10日のチームミーティング、18日のマネジメントレビューの結果を踏まえて5月号で報告します。マネジメントレビューの結果を今後の活動に活かして行きましょう。